

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 教育-17 中学校施設整備事業						
主管課	学校施設課	関連課					
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	市立中学校9校の良好な教育環境を確保します。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	3,390人	3,296人	3,231人			
運営資源状況	決算値(千円)	270,738	153,895	66,647	25年度人件費 7,551,719 円/人 (24年度人件費) 7,824,912 円/人 (23年度人件費) 8,427,745 円/人		
	(国・県)	5,027	7,415	43,132			
	(負担金等)						
	(一般財源)	265,711	146,480	23,515			
	人員配置数	1.2人	1.2人	1.5人			
	人件費(千円)	9,062	9,390	12,642			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	279,800	163,285	79,289			
	市民1人当りの経費(円)	1,573	921	447			
	対象者1人当りの経費(円)	82,537	49,540	24,540			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
中学校施設整備事業	270,738	中学校施設整備事業	1,049,735	今後の方向性	A	理由・手法	国・県の補助・交付金又は地方債を活用し、事業費のうち一般財源予算の縮減を図る。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	学校教育活動に支障を来たすことがないよう修繕及び改修工事に努めているが、多くの中学校が建設から25年以上経過していることから、校舎、体育館及びプール等の外壁、屋根等内外装材、給排水管等衛生設備、並びに校庭、フェンス等外構に損傷の著しい箇所が多く、中には修繕の限界を超えているものもあるため、大規模改修工事による対応が必要。						
課題解決のための取組	大船中学校の改築に向けて、改築工事設計及び各種調査業務委託、並びに既存校舎解体工事を実施した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	大船中学校改築、並びにトイレ改修(公共下水道接続含む)、普通・特別教室の冷房設備設置、校庭整備、プール建設・改修、特別支援学級全校設置に伴う教室改修、中学校給食実施に伴う受入室整備、エレベーター設置等、多岐に亘る改修工事。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	<input type="radio"/>	②妥当性	<input type="radio"/>
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	耐用年数を超過し、老朽化の進行する学校施設について、改築事業との整合性を考慮しながら大規模改修による延命化を図る。なお、大規模改修による延命化を図ることが困難な学校施設については、鎌倉市公共施設再編計画との整合性を考慮しながら、改築事業の実施について検討する。 また、健康で安全な学習環境を構築するため、明るく清潔感のある快適なトイレづくり(洋式便器、多目的トイレ及びドライフロアの拡充)を進めるとともに、高温・多湿な普通・特別教室への冷房設備設置について検討する。					➡	A
	※ <input type="checkbox"/> 事業完了						

評価者名

学校施設課長

渡辺 英史

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
中学校施設整備事業 ※事業完了	大船中学校改築に係る業務委託及び工事等、並びに第一及び手広中学校の特別支援学級教室改修工事。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1180	大船中学校改築検討協議会委員謝礼	78	0	○	○	○	○
		1180	大船中学校構造適合判定手数料	1,500	486	○	○	○	○
		1180	大船中学校改築工事基本・実施設計業務委託料	94,100	94,100	○	○	○	○
		1180	大船中学校事前家屋調査業務委託料	8,316	1,206	○	○	○	○
		1180	大船中学校地質調査業務委託料	12,348	4,305	○	○	○	○
		1180	大船中学校電波障害調査業務等委託料	642	840	○	○	○	○
		1180	大船中学校仮設校舎賃借料	75,537	75,537	○	○	○	○
1180	大船中学校既存校舎解体工事請負費	141,876	70,954	○	○	○	○		
1180	第一中学校特別支援学級教室改修工事請負費	8,411	5,512	○	○	○	○		
1180	手広中学校特別支援学級教室改修工事請負費	29,610	17,798	○	○	○	○		
※事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
中学校施設整備事業 ※事業完了									
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
中学校施設整備事業 ※事業完了									
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
中学校施設整備事業 ※事業完了									
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※事業完了									